

 <p>開校明治七年 開校144年目</p>	<h1>宗岡小だより</h1> <p>学校教育目標</p>	<p>めざす学校像 「安全・安心な学校」 「子供達一人一人の居場所がある学校」 12月号 平成30年12月1日 志木市立宗岡小学校 児童数469名・学級数18学級 住所 志木市中宗岡3-1-1 TEL 048-471-0307</p>	<p>12月の生活目標 学校のきまりを ふりかえろう ・二学期のまとめをしよう ・宗小のきまりを 反省しよう</p>
<p>宗小は保護者や地域と共にあるコミュニティ・スクール対象校です</p>			

師走 田んぼの学習から感じて欲しいこと

校長 近藤 章宏



5月の大型連休の後、校地内の隅の方から子供達の声があがりました。「うわ！ぬるぬるしてる！」「冷たくて気持ちいい」等々。田植えの体験です。本校の体育館の裏に12m×7mほどの小さな田んぼがあります。今回は1年間の田んぼの学習を通して見えてきたこと、子供達に感じてほしいことをお伝えします。

例年、5年生が「総合的な学習の時間」の取組として、春先から秋の終わりまで田んぼの学習に取り組んでいます。

宗岡地区は江戸時代から新田開発により稲作を行ってきた地域的な伝統があります。本校でも15年程前は荒川の河川敷の方にある田んぼをお借りして稲作体験もしていた時期もあるようですが、自動車も増えてまいりましたので、現在のように敷地内で安全に稲作体験のできる環境があることはとてもありがたいことです。



本校の田んぼの学習は地域の方々の多くの御支援により取り組むことができます。かつて本校の教員でもあった地域にお住まいの方が、田植え前に、耕運機できれいに耕していただいています。冒頭に紹介した田植えの際には本校の元校長だった方も加わり田植えの指導です。よくお話を聞く5年生ですので、田植えも上手にでき、褒めていただきました。田植えが終わると子供達は当番で、毎日水の管理と草むしりを行っていました。その後「中干し」といって一度水を抜いたり、水をいれたりするタイミ

ングもアドバイスいただきながら、稲刈りの時期を待ちます。夏休み明けに行った稲刈りの際の子供達の目はとても輝き、喜びに満ちていました。刈った稲穂を束ねることは保護者の皆様の御協力をいただき、屋根下に干すこと



ができました。脱穀は近所の農家の方が脱穀機を学校まで持ってきていただいています。またその方からは米作りに関する講話もしていただ

きました。子供達は自分達が春先から半年間体験してきたことを、講話の中で意味づけられることで、農作業の意図が整理できたようです。

そして脱穀の後に残る稲わらを再利用して「縄なえ」の体験も行います。地域にお住いのくすのき応援団の皆さまから指導していただきました。縄なえの体験がしやすいようにと、少しだけ編んだ状態のわらを子供達の人數分以上も用意していただくご配慮がありました。体験した子供達は次のような感想をもったようです。「昔の人は縄を手作業で編んで、その縄でお米をしばったりして大変だったと思いました。でも今の時代は機械でひもや糸が作れるので、縄を編んだこともないのですごく難しかったです。」



現在の宗岡地区は宅地化が進み、稲作地帯だったと言っても、ピンとこない子も少なくありません。しかし学区内をよく見回すと、そこかしこにまだ田んぼは点在しており、稲作に携わられているご家庭も多くいらっしゃいます。田んぼの学習での様々なご支援はコミュニティ・スクールとしての本校の大きな財産だと思います。学校教育目標

の一つである「町がすきな子」に育てていくためにも、学習活動をとおして宗岡地区の来し方を子供達に伝えていきたいと思ひます。